



集会施設や公園の管理運営の あり方等について検討しています。

「越後山まちの管理運営検討委員会」では、土地区画整理事業で整備される集会施設や公園の管理運営のあり方や、まち全体の維持管理について検討を進めています。みなさんからもご意見をお寄せください。以下、委員会で出されたアイデアや意見を紹介します。



集会施設・公園の管理運営の あり方について

集会施設の維持管理について

委員会での意見

維持管理のあり方について

- 所有は市、運営は地元、施設は地元が優先的に利用できるといい。
- 施設を自由に使うためには自主的に施設を運営することが必要。
- 施設の管理は地元だけでは無理。
- 建物の補修は地元では無理。市との連携・調整が必要。
- 管理の主体が決まらないと施設の内容も決められない。
- 市の出張所が併設されれば市の職員（パート職員）が常駐。
- NPO等の事務所として貸し出し、管理をしてもらう。
- まちの維持管理に参加する人も無償では続かない。少しでも労賃を出せばやる気になる。
- ➡ みなさんの要望が実現できるよう市と協議・調整していきます。



公園の維持管理について

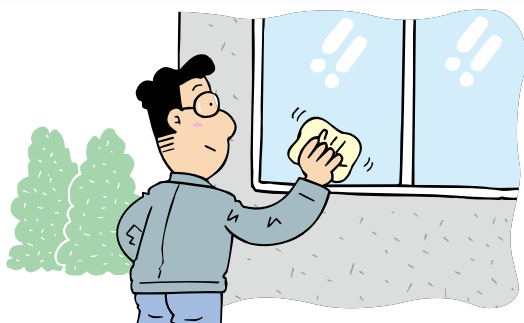
委員会での意見

地元と行政の役割分担

- 基本的には市が管理し、落ち葉拾いや花壇の世話など、一部を住民に委託。
- 維持・管理は市、運営は地元。

公園利用のルールづくり

- 管理規約が必要。
- (ゴルフ、野球などの禁止)
- ➡ 使いやすく、管理しやすい公園づくりに向け、市と協議・連携していきます。



先進地視察のご報告

3月9日(火)に住民主体でのまちづくりや公園づくりを行っている、東京都八王子市の小田野中央公園に視察に行ってきましたのでご報告いたします。当日はあいにくの雪で公園の視察は凍えるようでしたが、色々と参考になるお話が聞けました。

小田野中央公園の概要

- 八王子の中央部の北側、JR及び京王線の高尾駅から約5km北に位置。
- 面積2.9ha、浅川の清流に面しています。
(越後山の公園は0.45haの予定)

公園づくり活動の経緯

- 市から「手づくり公園事業」による公園づくりを打診されたのがきっかけ。
- 地域の自治会等を中心に福祉関係の団体など様々な組織や個人が集まって「小田野中央公園をつくる会」が発足。

公園づくり活動

- 住民が主体となって公園づくり計画を策定。市はそれに基づいて整備しただけ!(検討の会議には参加)
- 地元の小中学校、高校、大学まで巻き込んで活動を展開。
- 平成16年8月の検討開始から平成19年3月の公園完成まで2年半の歳月をかけて検討・整備。

まちづくり活動

- 公園整備後、公園の維持管理やコミュニティづくり、防犯、防災などの地域活動を行う「まちづくりの会」を発足。
- 会員は当初の65人から現在は92人にまで増加。
- 市と事業協定を結び、役割分担をしながら公園の維持管理等の活動を実施。
- 活動にあたっては市から年間150万円の補助金がでていそうです。



下見の時の
小田野中央公園



木の標識も子ども
たちの手作り



住民が植樹した
河津桜



災害時のトイレ設置場所
※下水道直結で汚物処理の
必要なし。



かまどになる
ベンチ



中学生が考えた
広場利用のルール



ロープ滑りなどの
遊具



手こぎ式の井戸
水を流すと上のトイレの
下水に流れるしくみ。



地元の多摩造形大の
学生が絵を描いた
トイレ



日付の場所に立つだけで
時間がわかる日時計。
小学生のアイデア。